

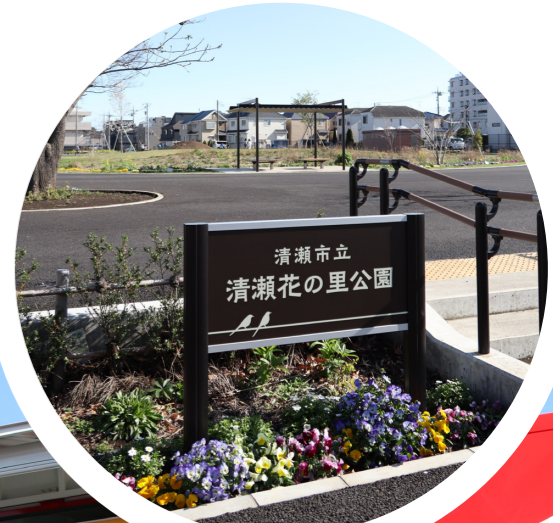
学んで、食べて、つながる一日!

みんなで楽しむ防災フェスタ

2026年2月15日(日)、清瀬花の里公園を会場に、市民ボランティアグループによる地域防災意識の向上を目的とした「防災フェスタ」が開催されました。親子や家族連れの学びとなったイベントの様子をお届けします。



消防ポンプ車の展示と乗車体験



起震車による地震体験



キッチンカーグルメ



かまどベンチの炊き出し体験



煙体験ハウス

終日多くの来場者でにぎわいました。特にキッチンカーはすべての商品が売り切れるほどの盛況ぶりでした。参加した市民からは、「いろいろな人に会えて、いろいろな話ができ良かった」「起震車では地震のゆれを学び、貴重な体験ができた」といった声が寄せられました。また、「たくさんのボランティアがいてありがたい」「芋煮が美味しかった」といった感想も聞かれました。さらに、車いす利用者が起震車体験に参加する場面もあり、消防関係者からは「これまでにない良い経験となった」との声も。加えて、「施設の利用は知っていたが、どのような場所か知らなかったのが今回知ることができてよかった」といった、新たな発見につながる意見も寄せられました。



当日は多彩なコンテンツが用意され、来場者を見て・触れて・学ぶ、実践的な防災体験を楽しみながら防災について理解を深めていました。公園内では、かまどベンチを活用した炊き出し体験が行われ、温かい芋煮の振る舞いも。消防署や消防団による防災体験コーナーでは、起震車を使った地震体験などが人気を集めました。また、隣接する特別養護老人ホーム「清雅苑」では防災講座が午前と午後の2回にわたり開催され、知識面からの備えについても理解を深める機会となりました。さらに、マルシェやキッチンカーの出店、スタンラリー、防災備蓄品の配布など、子どもから大人まで楽しめる企画が充実し、

「もしもの時の備え」をいつもの公園で考えよう

